



2022年 5 月 18 日

各 位

上場会社名 株式会社アーレスティ
 代表者 代表取締役社長 高橋 新
 (コード番号 5852)
 問合せ先責任者 執行役員経営企画部長 清水 敦史
 (TEL 03-6369-8664)

繰延税金資産の取り崩し（連結決算）及び特別損失の発生（個別決算）
 並びに通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期通期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結及び個別決算において、繰延税金資産の取り崩し（連結決算）及び関係会社株式評価損（個別決算）を計上いたしました。

その結果、2022年2月14日付で公表いたしました通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取り崩し（連結決算）

当社の連結子会社であるアーレスティインディアプライベートリミテッドにおいて、インドにおける法人税率の変更及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取り崩し888百万円を法人税等調整額に計上いたしました。

2. 2022年3月期通期連結業績予想と実績値との差異について（連結決算）

(1) 通期連結業績予想と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	114,000	△2,500	△2,300	△4,500	△174.59
実 績 値(B)	116,313	△2,422	△2,032	△5,189	△201.23
増減額(B-A)	2,313	77	267	△689	
増減率(%)	2.0%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	92,973	△2,554	△2,094	△2,843	△111.06

(2) 修正の理由

連結売上高、営業利益、経常利益につきましては、半導体不足等による自動車生産減はあったものの、概ね前回予想通りに推移いたしました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失として米国連結子会社であるアーレスティウイールミントン CORP. における有形固定資産の減損損失 3,794百万円を含む減損損失計 4,228百万円及び上記の繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額 888百万円を計上した一方、特別利益として当社が保有する政策保有株式の一部売却による投資有価証券売却益 2,304百万円を計上した結果、△5,189百万円となりました。

3. 関係会社株式評価損（個別決算）

当社は2022年2月14日付で公表いたしました「特別損失、特別利益の発生及び連結子会社への支援（債権放棄・増資）並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、当社の連結子会社であるアーレスティウイ
ルミントンCORP. が2022年3月期第3四半期において債務超過となったことから、同社の債務超過解消と財務基盤強
化のため、2022年3月期第4四半期において同社が実施する37,000千米ドルの増資を引き受けましたが、当該増資額
については、その大半が債務超過額の解消に充当され、同社株式の実質価値は増資後の同社純資産額となることか
ら、関係会社株式評価損3,667百万円を特別損失へ計上いたしました。当該関係会社株式評価損は、連結決算上消去
されるため、2022年3月期の連結業績に与える影響はありません。

なお、同社は当社グループの北米における戦略的な子会社として重要な位置づけであり、今後は電動系部品を中心
とした受注確定済み新規量産品の立ち上げが見込まれております。当社は同社の抜本的な収益改善と財務体質の健
全化を図り、早期の経営の安定に努めてまいります。

以 上